

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成23年9月9日(金) 5校時
学 級 盛岡市立下橋中学校2年3組(男子9名女子15名計24名)
授業者 盛岡市立下橋中学校 教諭 渡邊康二

1 単元名 事実と意見 ―筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぶ―

2 学習材 主教材「五重の塔はなぜ倒れないか」(光村中学2年)
補助教材「畑と水田は違います」
(富山和子『自然と人間 お米は生きている』講談社 1995年)

3 単元について

(1) 生徒について

生徒は、今年度、説明的文章として「文化を伝えるチンパンジー」を学習している。「文化を伝えるチンパンジー」では、文末表現に着目し、問題提起、事実、考察の文をとらえる学習を行った。また、補助教材として「ヤドカリとイソギンチャク」(東京書籍『新しい国語四上』)を用い、箇条書きで与えた事実から、考察、問題提起を導き出し、説明的文章を書くという学習を行っている。これにより、説明的文章の文章全体と部分の関係、構成や展開をとらえる学習を行った。

しかし、生徒の実態として、とらえた内容について根拠を明確にして自分の考えをまとめる力が不足している。本単元を通じて、文章の書きぶりに注目しながら、説明的文章の特徴をとらえ、根拠を明確にして自分の考えをまとめる学習を行っていききたい。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領言語活動例イ「説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」を参考にしながら単元を構成する。主教材として、説明的文章の特徴が明確に表れている「五重の塔はなぜ倒れないか」を扱い、補助教材として「畑と水田は違います」という文章を扱うものである。

言語活動例イ「説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」は、説明や評論などの文章を読むことを通じて書き手のものの見方や考え方をとらえ、また、書き手の工夫がみられる表現、書き直した方がよいと思われる表現について、根拠を具体的に挙げながら検討させることをねらいとしている。これらの言語活動を通じて読む能力の育成を図るものである。本単元の中心となる指導事項として、読むことのウ「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること」を取り上げる。

授業では、主教材「五重の塔はなぜ倒れないか」のわかりやすさをとらえさせることをねらいとする。この教材は、日本の建築技術のすばらしさを現代の免震技術と関連させながら説明している文章である。情報量が多く専門用語も多用されているが、問いに対する答えからさらに新しい問いを導くという重層的な文章構成や、それぞれのまとまりごとに示された簡潔な見出し、また、難しい建築構造の仕組みを巧みな比喻を用いて表現するなど、読み手が興味を持って読み進められるよう工夫されている。一方、補助教材として、平易な語句で書かれた説明的な文章「畑と水田は違います」を併用する。この文章は、富山和子「お米は生きている」の一節であり、この文章も、問いと問いに対する答えを示す形で文章が書かれているが、問いと答えのつながりが明確でないため、分かりにくさがある。また、説明のために用いられた比喻も曖昧である。主教材と補助教材の構成や比喻の用い方を比較することで、「五重の塔はなぜ倒れないか」の文章の分かりやすさに気付かせたい。

(3) 指導について

本単元は、全4時間の指導計画とする。

第1次では、主教材「五重の塔はなぜ倒れないか」を扱う。教材に出会う前に、これまで学習した説明的文章の分かりやすさの要素について想起させる。それをもとに、主教材の分かりやすさについて、一旦、評価させておく。

第2次には、補助教材「畑と水田は違います」を示す。前時で確認した、分かりやすい説明的文章の要素と照らし合わせながら、補助教材を前時と同様に評価させる。ここでは、問いと答えのつながりが不明確な点と、比喩の用い方の曖昧さをとらえさせたい。

次に、補助教材と比較しながら、主教材の文章の分かりやすさについて、根拠を明確にして再評価する時間をとる。前時に補助教材で取り上げた構成、比喩表現の二つを主な観点として比較しながら、どちらが分かりやすい文章と言えるかを明らかにさせる。そして、説明的文章の分かりやすさの要素について、根拠を示しながらまとめさせたい。

第3次には、発展教材を示す。短時間で読める説明的文章4編を提示し、そのうちの1編を生徒に選択させ、文章の分かりやすさの要素に沿って評価させることで、定着を図りたい。

4 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

文章の表現の仕方に注意して読み、自分なりに文章を評価しようとしている。

(2) 読むこと

説明的文章の分かりやすさについて、根拠に基づいて説明することができる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

説明的文章の書き方の特徴である、問いと答えのつながりや説明で用いる比喩の効果を理解することができる。

5 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

主教材、補助教材の書き方に注目して文章を評価しようとしている。

(2) 読むこと

説明的文章の分かりやすさの要素として、「問いと答えのつながり」「比喩表現の効果」を根拠に挙げている。

(3) 言語についての知識・理解・技能

主教材、補助教材の問いと答えの部分、比喩表現を指摘し、それぞれの違いについて説明している。

6 学習指導計画（全4時間）

第1次（1時間）

既習事項の想起と主教材の評価

・これまでの説明的文章の学習をもとに、主教材「五重の塔はなぜ倒れないか」を評価する。

第2次（2時間）

補助教材の文章の評価（ICTの活用）

・補助教材の「問いと答え」のつながりに注目させる。

・補助教材の「比喩の用い方」に注目させる。

主教材を評価し、根拠を明確にしてまとめる。（ICTの活用）・・・・・・・・・・本時

・主教材の「問いと答え」のつながりに注目させる。

・主教材の「比喩表現」に注目させる。

・主教材と補助教材のそれぞれ注目した表現を比較しながら、自分の考えの根拠を明確にしてまとめさせる。

第3次（1時間）

他の説明的文章を読み、文章の書きぶりに注目する。

- ・ 4編の説明的文章を示し、評価対象とする文章を選択する。
- ・ 選択した1編について、その文章の書き方について根拠を示しながら自分の考えをまとめる。

7 本時の指導

(1) 目標

「五重の塔はなぜ倒れないか」と「畑と水田は違います」の文章を比較し、文章の分かりやすさの要素を、根拠を明確にして説明することができる。

(2) 指導の構想

本時は、前時の補助教材と比較しながら「五重の塔はなぜ倒れないか」の文章の分かりやすさを根拠を明確にしてまとめる時間とする。比較する観点として、「問いと答えのつながり」「比喩表現」の2点について、説明的文章としてわかりやすいのはどちらの文章かを評価させる。

主教材の説明的文章としての分かりやすさの要素として、「問いとその答えのつながり」といった構成の確かさ、「問いの答えから新たな問いを導く」といった文章の展開の仕方、「おせち料理などを入れる重箱のように」「各重がやじろべえのように」といった直喩表現や、五重の塔の構造をおわんを用いて表現するなどの、読み手に建物構造を具体的にイメージさせる比喩表現の巧みさをとらえさせる。

このように、補助教材と比較しながらとらえた主教材の分かりやすさの要素を、「説明的文章の分かりやすさの要素」として自分の言葉で説明させることで、今後の説明的文章の読解に役立てさせたい。

(3) 評価規準

観 点	概ね満足できると判断できる状況 (B)	十分満足できると判断されるキーワード(A)	努力を要する生徒への支援の手立ての例	評価の方法
国語への関心・意欲・態度	二つの文章を比較し、評価しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主教材の新たな問いへの気付き ・ 比喩表現のイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部分の焦点化 ・ 点数化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習シートへの記入 ・ 発言の記録
読む能力	文章構成や、比喩表現について、わかりやすいと考えた点を自分の言葉でまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主教材の、新たな問いを導く構成の文章化 ・ 比喩表現のイメージの文章化 ・ 補助教材との比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部分の提示 ・ 補助教材との比較 ・ 分かりやすい説明的文章の条件の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習シートの記述内容

(4) 展開

	学習過程	学習内容と学習活動	教師の指導・支援	◇留意点◆評価
導入	1 問題把握 (2分) 2 課題設定 (3分)	1 補助教材の評価の観点を確認する。 ・問いと答え ・説明に用いる比喩表現 2 学習課題を確認する。	1 前時の補助教材と関連させ、具体的な表現を取り上げて確認させる。 2 2つの教材の評価の確認。	◇紙板書の活用
5分		「五重の塔はなぜ倒れないか」と「畑と水田は違います」は、どちらが分かりやすい説明的文章だといえるのだろうか。		
展開	3 自力解決 (30分) 4 共同思考 (10分)	3 「五重の塔はなぜ倒れないか」と「畑と水田は違います」の書きぶりに注目する。 ○構成の確かさ ・問いと答え ・新たな問いの導き方 ○表現上の工夫 ・直喩表現 ・たとえを用いた説明 4 注目した書きぶりを、説明的文章の分かりやすさの要素としてまとめる。	3 「五重の塔はなぜ倒れないか」から「問いと答えのつながり」「比喩表現」の部分を取り出し、「畑と水田は違います」の表現の仕方と比較させる。 ○それぞれの項目ごとに、どちらの表現が分かりやすいか評価させる。 ○見つけにくい場合は、部分を示し気付かせる。 4 比較した内容をもとに、根拠を明確にして学習シートにまとめる。 ○書き方を示す。 ○複数の要素については、順序立ててまとめさせる。 ○話形は示すが、この形にあてはめにくい場合は、根拠を明確にしていればよいこととする。	◆学習シートへの記入(関・意) ◆文章プリントへの書き込み(関・意) ◆学習シートへの書き込み(読)
40分		上田篤の文章の書きぶりについて○○が一番納得した。理由は△△△だからだ。		
終末	5 まとめ (5分)	5 分かりやすい説明的文章の要素を確認する。	5 既習の説明的文章、主教材、補助教材を関連させてまとめさせる。 ○次時の予告として、本時の学習内容を活かし、別の説明的文章を学習することを伝える。	
5分				